

S500 ソフトインストール用アプリケーション

# WRITE-III

取扱説明書

## 目次

<b>1.ソフトの入手方法</b> .....	<b>3</b>
1-1「WRITE-III」のダウンロード.....	3
1-2 診断ソフトのダウンロード.....	3
1-3 ファイルの解凍作業.....	4
<b>2. 「WRITE-III」のインストールとソフトファイルの準備</b> .....	<b>5</b>
2-1 「WRITE-III」のインストール開始.....	5
<b>3. 「WRITE-III」使用方法</b> .....	<b>6</b>
3-1 S500 の接続（USB 接続の場合）.....	6
3-2 S500 の接続（RS-232C 接続の場合）.....	9
3-3 S500 の準備.....	11
3-4 「WRITE-III」の起動.....	12
3-5 「WRITE-III」の出来ること.....	13
3-6 「WRITE-III」の設定（使用者情報の書込み）.....	14
3-7 OS・診断ソフトの書込み（OS 編）.....	15
3-8 OS・診断ソフトの書込み（診断ソフト編）.....	21
診断ソフト一括書込みの場合.....	22
一つずつの書込みの場合.....	24
<b>4. 「WRITE-III」のアンインストール（削除）</b> .....	<b>26</b>
Windows 2000 の場合.....	26
Windows XP の場合.....	26
Windows Vista の場合.....	26
Windows 7 の場合.....	26
<b>付録</b> .....	<b>27</b>

## 1.ソフトの入手方法

S500 ソフトインストール用アプリケーション「WRITE-III」(以下 WRITE-III) はインターネットを使用し、ダウンロードしてお使いいただけます。

### 1-1「WRITE-III」のダウンロード

#### パソコン用ソフト/ドライバー/マニュアル

ファイル名	バージョン	リリース	ダウンロードファイル形式	
PC-SCANNER(PCスキャナー)	Ver. 3.000		zipファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
PC-SCANNERマニュアル	Ver. 3.02		PDFファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
WRITE-III	Ver. 4.23		zipファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
WRITE-IIIマニュアル	Ver. 4.23		PDFファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
WRITE-III	Ver. 4.110	2016/04	zipファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
WRITE-III	Ver. 4.000		zipファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
WRITE-IIIマニュアル	Ver. 1.00		PDFファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
S500用 USBドライバー			zipファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>
USB接続マニュアル	Ver. 1.00		PDFファイル	<a href="#">DOWNLOAD</a>

[DOWNLOAD]をクリックし、  
保存します。

ダウンロードするファイルは圧縮またはPDFファイルです。インストールする前に[解凍作業](#)が必要です。また、マニュアルのPDFファイルはご覧になる場合、アドビ社の Adobe Reader がインストールされている必要があります。  
備考: 平成21年4月1日より、商品構成が変わり、「PC-SCANNER」をサポート会員様限定で無料ダウンロードできるようになりました。以前の「PC-SCANNER」をご使用の場合は、インストール方法が違いますので[こちら](#)をご覧ください。

弊社ホームページの「ソフトダウンロードページ」の「パソコン用ソフト/ドライバー/マニュアル」欄にある「WRITE-III Ver4.23」をダウンロードします。

### 1-2 診断ソフトのダウンロード

弊社ホームページより、アップデートする診断診断ソフトもこの時にダウンロードしてください。

### 1-3 ファイルの解凍作業

1.

ダウンロードしたファイルは右の「解凍前」のようにフォルダにファスナーがついたアイコンになっています。これを解凍することで、ファスナーのないフォルダのアイコンになります。

※アイコンはWindowsの標準的なアイコンです。解凍ソフトなどがインストールされたパソコンではアイコンが違う場合があります。



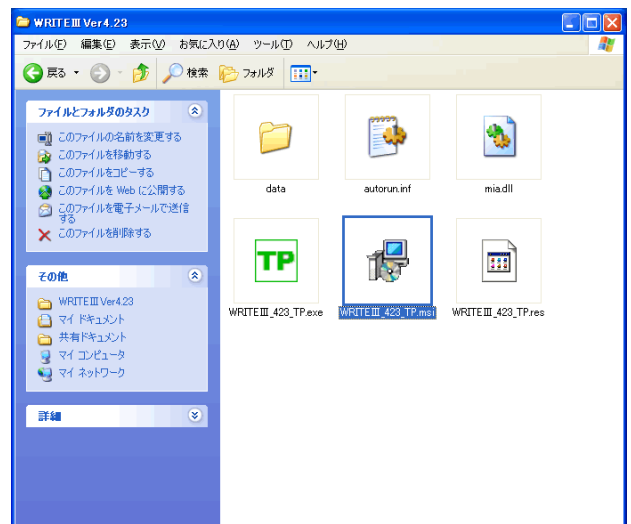
2.

圧縮ファイルを解凍します。



2.

解凍後、フォルダの中は右のようになります。



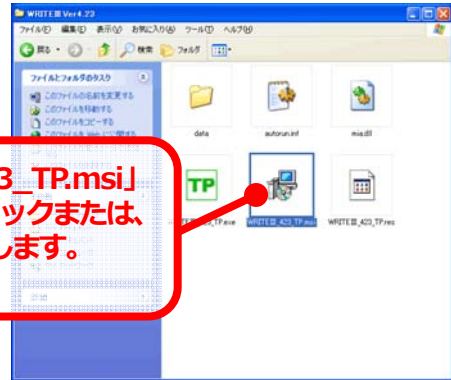
## 2.「WRITE-III」のインストールとソフトウェアの準備

### 2-1 「WRITE-III」 のインストール開始

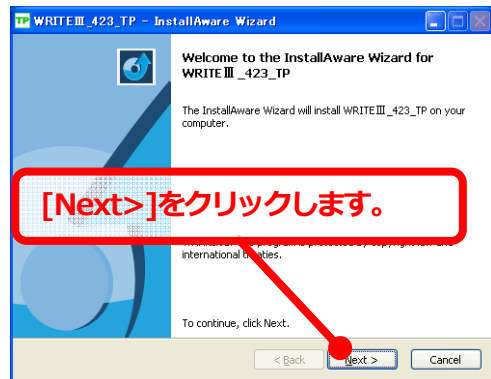
1. 先ほど解凍作業が完了したファイルの中から、「WRITE-III\_423\_TP.msi」を起動（ダブルクリックまたは、右クリック-開く）させます。



「WRITE-III\_423\_TP.msi」を起動（ダブルクリックまたは、右クリック-開く）します。

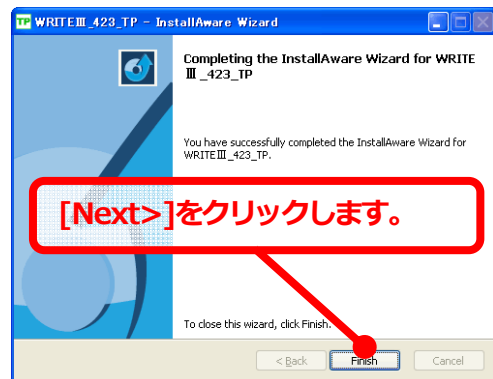


2. インストールウィザードが開始されます。  
[Next >]をクリックしてインストールを開始します。



[Next >]をクリックします。

3. しばらくするとインストールが完了しますので、[Finish]をクリックして終了します。  
終了後デスクトップに「WRITE-III\_423TP」（下記アイコン参照）ができます。



[Next >]をクリックします。

### 3.「WRITE-III」使用方法



注意

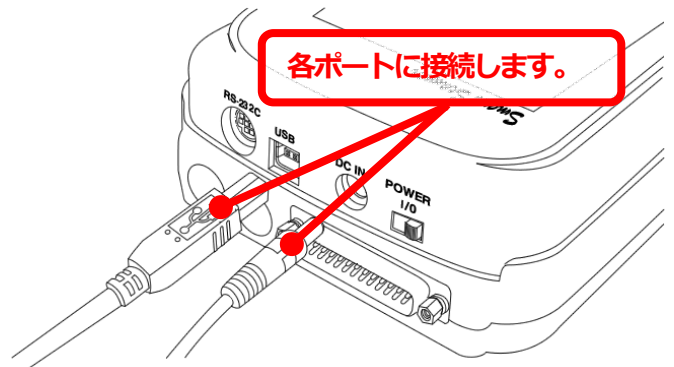
初めて S500 をパソコンに接続するとき、USB 接続の場合、ドライバーのインストールが必要になります。

ドライバーは弊社ホームページのサポートページからダウンロードできます。ファイルは圧縮されていますので、必ず解凍作業を行ってください。

#### 3-1 S500 の接続 (USB 接続の場合)

1.

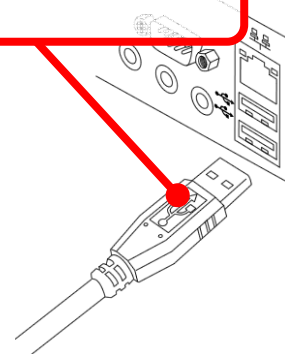
S500 本体に接続ケーブル (USB-CABLE) と AC 電源アダプター (S500-AC-C) を接続します。AC 電源アダプター (S500-AC-C) の片側を AC コンセントに接続します。



2.

接続ケーブル (USB-CABLE) をパソコンに接続します。

パソコンの USB ポートへ接続します。



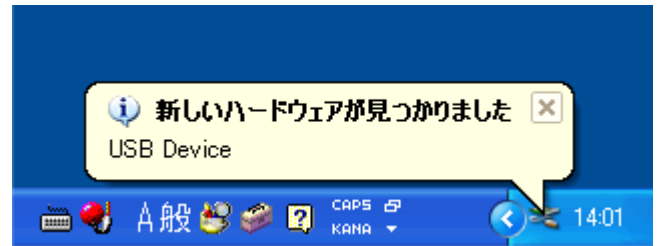
3.

S500 の電源スイッチで電源を入れます。



4.

接続して電源を ON にすると、Windows の画面に「新しいハードウェアが見つかりました。」とポップアップが表示されますので、このポップアップをクリックします。



5.

先ほどのポップアップをクリックすると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されます。この最初の画面では、Windows Update でのドライバーの検索を行うか聞いてきますので、「いいえ、今回は接続しません。(D)」のラジオボタンをクリックして

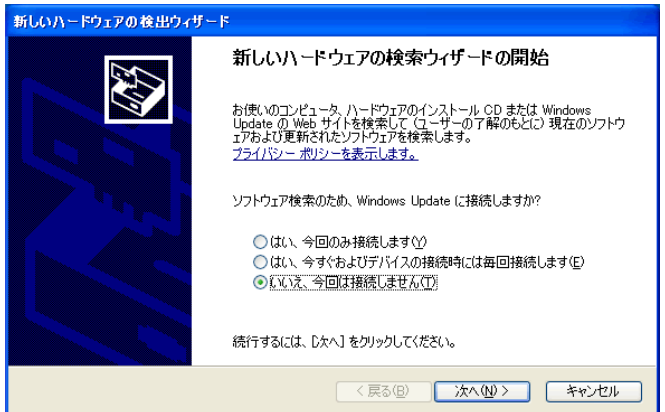
[次へ(N)>]をクリックします。

ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?

- はい、今回のみ接続します(D)
- はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します(E)
- いいえ、今回は接続しません(F)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル



6.

次にドライバーのインストール方法について選択します。ここでは「一覧または特定の場所からインストールする (詳細) (S)」のラジオボタンを ON にして[次へ (N)]をクリックします。

インストール方法を選んでください。

- ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨) (D)
- 一覧または特定の場所からインストールする (詳細) (S)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル

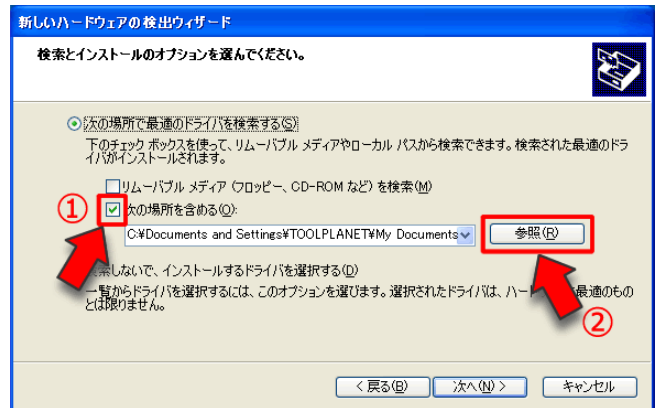


### 3.「WRITE-III」のアンインストール

7.

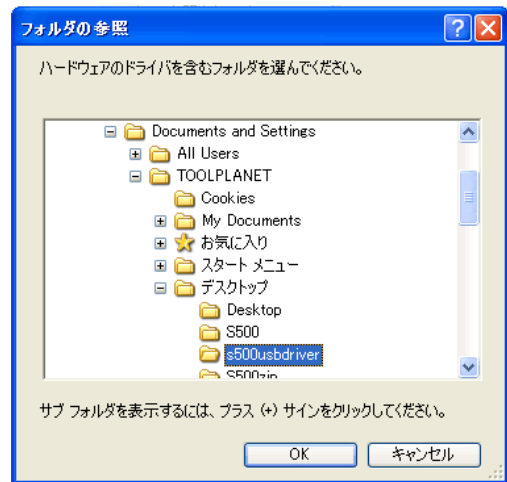
インストールするドライバーの場所を選択します。

①の「次の場所を含める (O)」にレ点を入力し、②の[参照(R)]ボタンをクリックします。



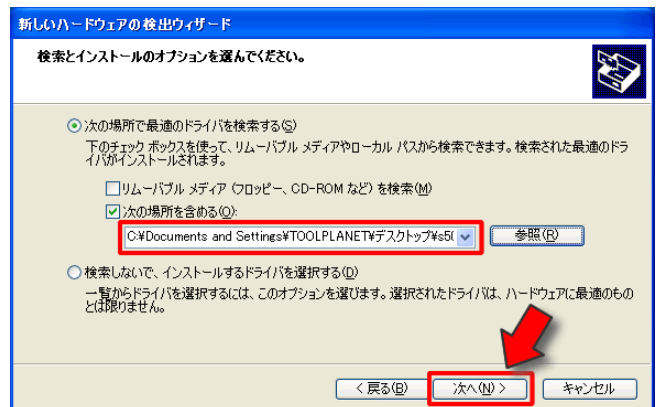
8.

フォルダの参照画面が表示されますので、S500のUSBドライバーのある場所を選択し、[OK]をクリックします。



9.

「次の場所を含める (O)」欄に先ほど選択した場所が入力されているのを確認して[次へ (N)]をクリックします。





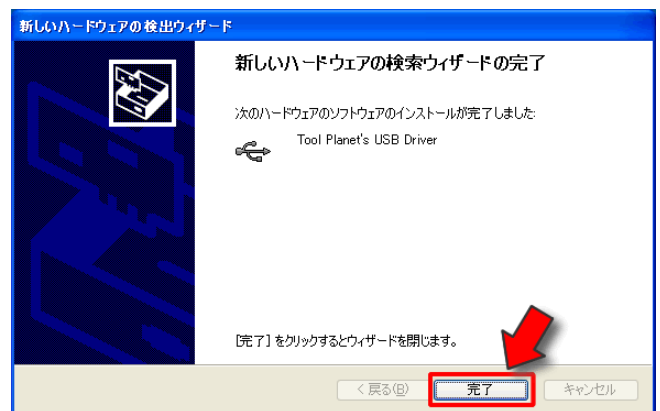
10.

Windowsがドライバーを検索してインストールを開始します。



11.

インストールが完了すると、右のような表示になります。[完了]をクリックして、ウィザードを終了します。

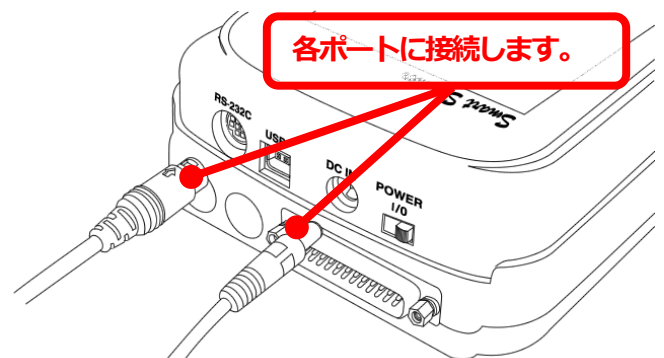


### 3-2 S500 の接続 (RS-232C 接続の場合)

1.

S500 本体に接続ケーブル (S500-232C-C) と AC 電源アダプター (S500-AC-C) を接続します。AC 電源アダプター (S500-AC-C) の片側を AC コンセントに接続します。

※本体 USB コネクタは現在使用できません。「RS-232C」と書かれた○型コネクタを使用します。



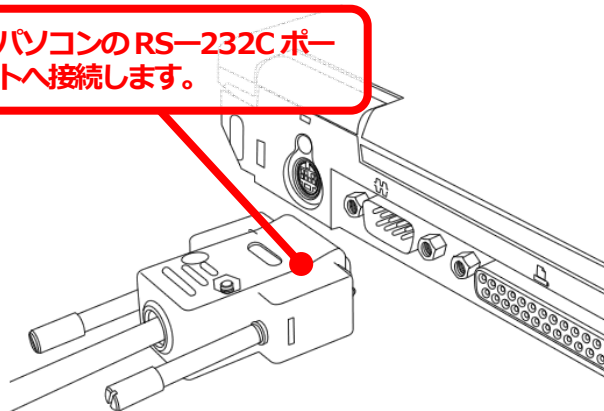
### 3.「WRITE-III」のアンインストール

2.

接続ケーブル (S500-232C-C) をパソコンに接続します。

※パソコンにシリアルポート (RS-232C 9ピンポート) が装備されていないパソコンの場合は、市販のUSB変換ケーブルもお使いいただけます。その場合、USB変換ケーブルのドライバーをインストールして、ポートの確認をしてください。

パソコンのRS-232Cポートへ接続します。



3.

S500の電源スイッチで電源を入れます。



### 3-3 S500 の準備

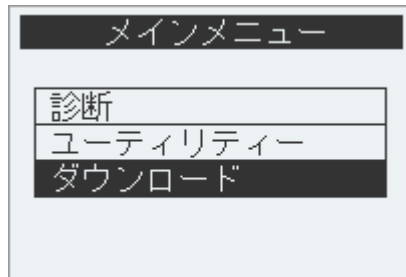
1.

電源を入れると初期画面が表示されます。  
[ENTER]キーで実行します。



3.

メインメニューが表示されたら▲▼キーでダウンロードを選択して[ENTER]キーで実行します。



4.

「待機中」というメッセージが表示され、S500がパソコンと通信可能な状態になります。  
パソコンで、WRITE-III を起動してください。



### 3-4 「WRITE-III」の起動

1.

デスクトップに右のようなアイコンが作成されます。ダブルクリック（右クリック→開く）で「WRITE-III」をスタートします。

※S500 本体をパソコンに接続し、電源を ON であることを確認してください。

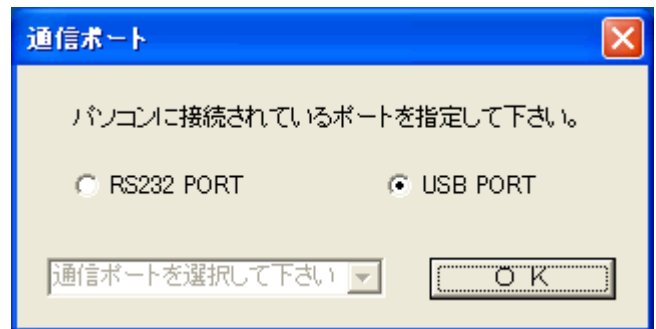


2.

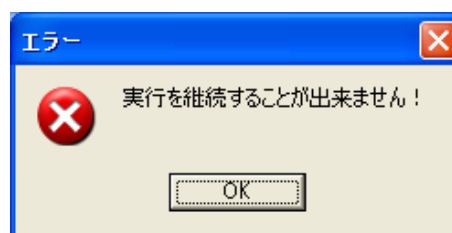
S500 が接続されているパソコンのポートを設定します。

USB 接続の場合は USB をクリックして [OK] をクリックします。また、RS232 ポートを使用する場合は通信ポートを選択して [OK] をクリックします。

S500 との通信が可能になると、S500 の画面が「実行中」にかわります。



接続エラー：S500 に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のようなエラーが表示されます。

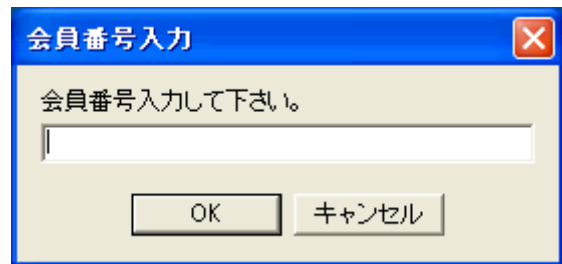


3.“会員番号”はS500 本体裏にある“ID”を入力します。



必ず半角で、入力してください。全角で入力した場合、エラーが表示されます。

1 2 3 4 A B	全角
1234AB	半角



入力エラー：会員番号 (ID) がS500 本体の番号と一致しない場合に下のようなエラーが表示されます。



### 3-5 「WRITE-III」の出来ること

#### ・本体、OS、アプリ情報

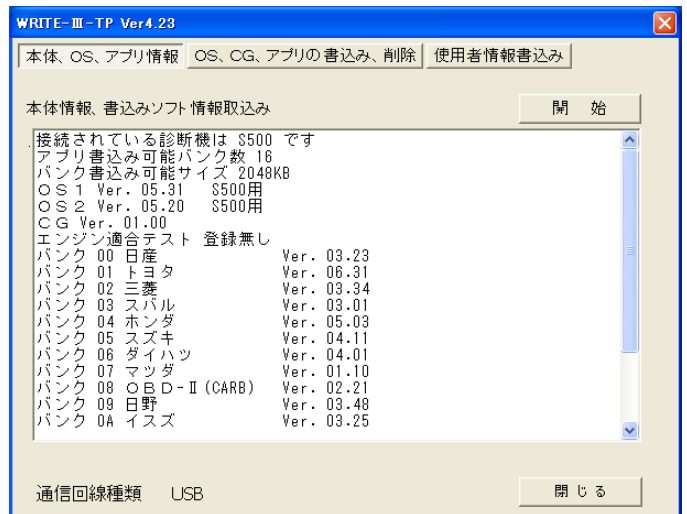
現在のS500のOS、アプリ（診断ソフト）のバージョンが表示されます。

#### ・OS、CG、アプリの書込み、削除

OS、CG、アプリを書込み、削除します。

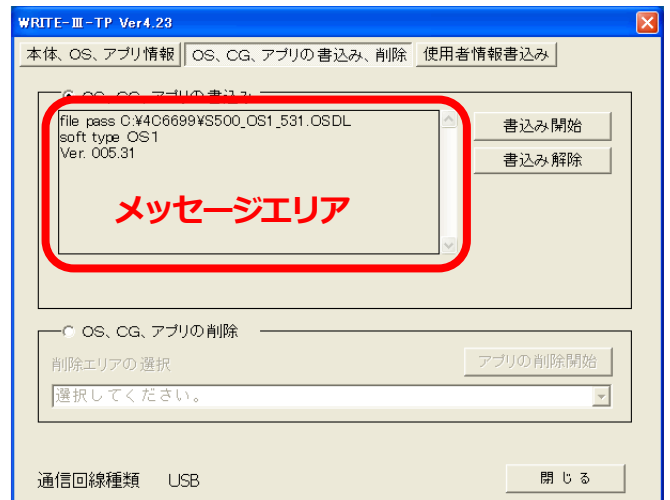
#### ・使用者情報書込み

使用者情報を入力し、S500 本体に書込みます。



### メッセージエリア

メッセージエリアには、書込むソフトの情報や、書込みの状態が表示されます。

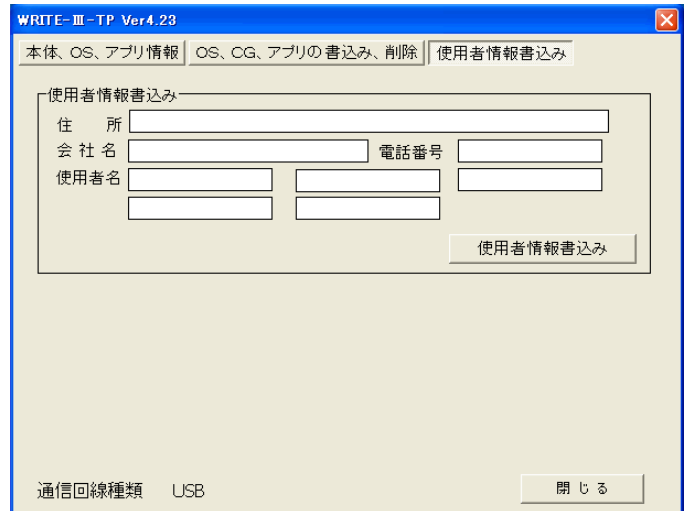


## 3-6 「WRITE-III」の設定（使用者情報の書込み）

1.

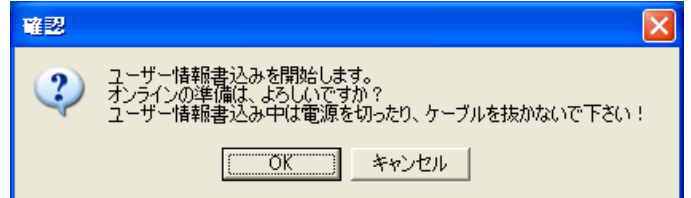
[使用者情報の書込み]をクリックすると、S500本体に使用者の情報を書込む事ができます。

使用者情報に必要事項を入力、確認し、[使用者情報書込み]ボタンをクリックします。



2.

使用者情報を S500 に書込みます。  
準備が整いましたら[OK]をクリックします。



3.

使用者情報の書き込みが完了しましたら右のようなウィンドウが表示されます。

[OK]をクリックします。



ユーザー情報の書き込みが完了しましたら、次はOS・診断ソフトの書き込みにつづります。

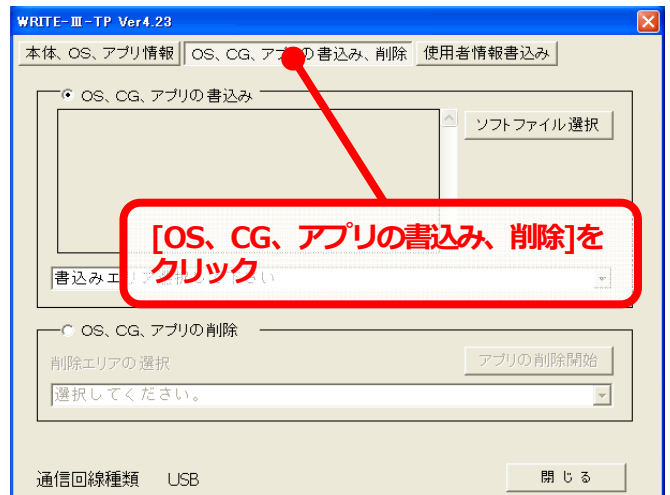
次にページへ進んでください。

### 3-7 OS・診断ソフトの書き込み（OS編）

1.

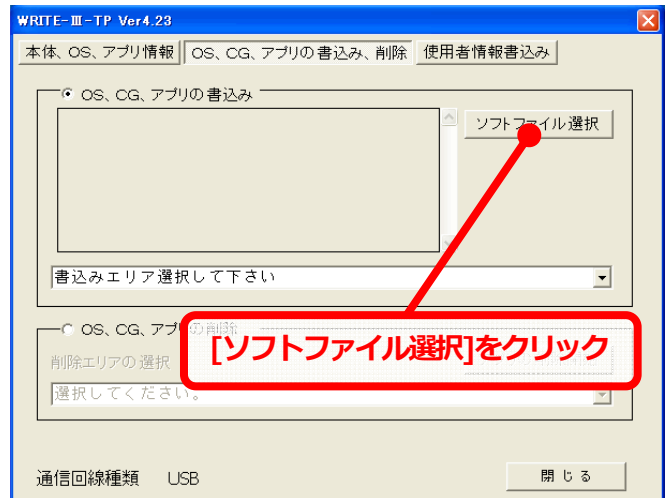
解凍作業の終わった診断ソフトを書込みます。もし、アップデート時にOSもバージョンアップされていた場合ははじめにOSから書き込みます。ここでは、OS 1, 2をはじめに書き込むところから説明します。

※この作業はOSがバージョンアップした場合のみ行います。OSの変更がなく、診断ソフトだけアップデートしている場合は必要ありません。

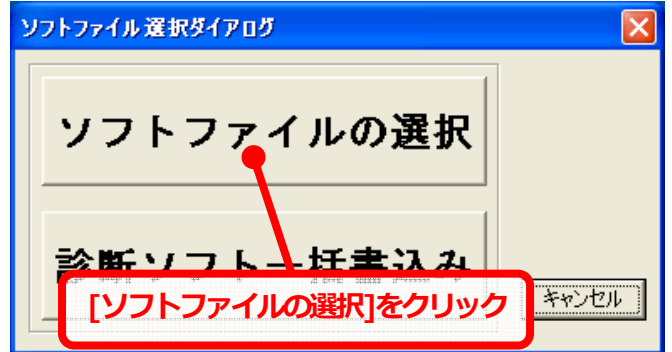


### 3.「WRITE-III」のアンインストール

2. 画面右側にある [ソフトウェア選択]をクリックします。

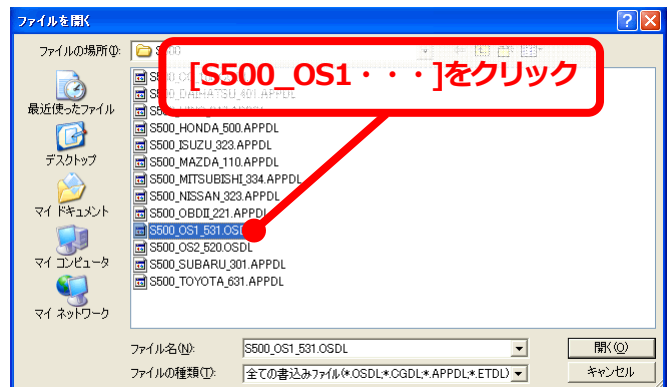


3. 「ソフトウェア選択ダイアログ」が表示されますので、[ソフトウェアの選択]をクリックします。



4. 「ファイルを開く」画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルの中から OS1 を選択して[開く]をクリックします。

※時期により「S500\_OS1\_」の後の数字は変わります。





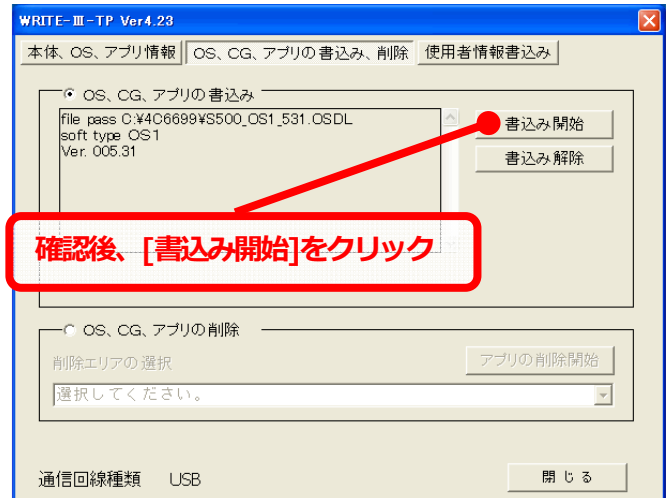
5.

OS、OG、アプリの書込み欄に選択したファイル名が表示されます。

確認後[書込み開始]をクリックします。また、個々で違うファイルを選択してしまった場合は、[書込み解除]をクリックすることで、ソフトウェアの選択が可能になります。

OS、CG、アプリ書込み欄の内容は以下のようになります。

file pass	ファイルのある場所とファイル名
Soft type	ソフトの名前 (OS1、トヨタ、等)
Ver	バージョン

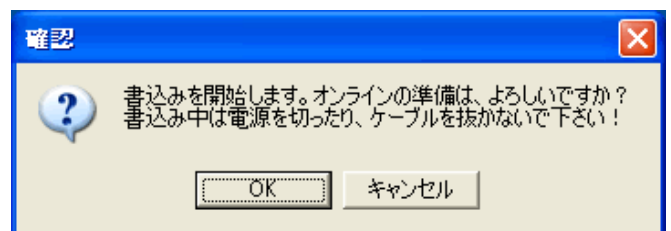


6.

確認画面が表示されます。書込み中はの注意を必ず守ってください。

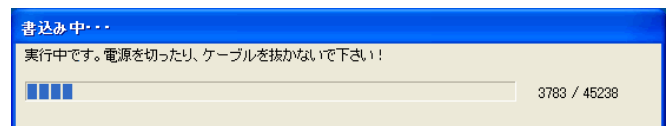
[OK]をクリックします。

※書込み中に電源を切ったり、ケーブルの接続を解除すると、S500 が故障します。



7.

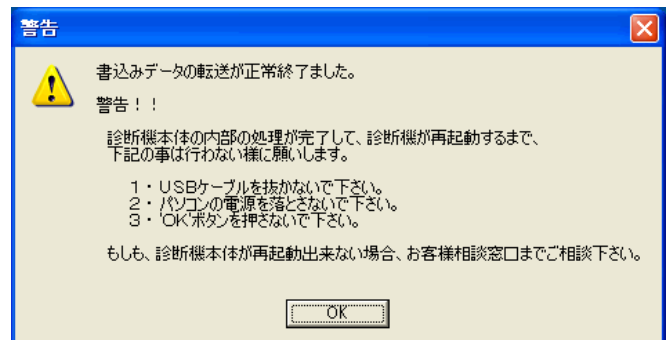
書込み作業がはじまります。



8.

書込みデータの転送が正常に終了すると、右の仮面が表示されます。この後、S500 の内部処理が始まりますので、S500 はそのまま操作しないでください。

[OK]をクリックします。





**パソコン上で書込みが完了が表示されても、S500 本体は作業を終了していません。  
S500 本体は作業が終了すると自動的に再起動します。S500 本体が作業を終了するまで、  
「WRITE-III」を終了（閉じるボタン）しないでください。**

9.

パソコンの処理が完了すると、S500 の内部処理が開始され、下の画面のようになります。

ベリファイが終了すると、S500 は自動的に再起動しますので、もう一度、[メインメニュー]-

[ダウンロード]と進めていき、「待機中」の画面が表示した状態まで進めてください。続いて「OS2」の書込みを行います。

ベリファイ終了後、以下の画面が表示されます。これは、OS2のバージョンが古い場合に表示され、この後、OS2 を書込むことで、表示されなくなります。[ENTER]ボタンを押して下さい。

OS2がOS1に対応してません

下記のバージョン以上でご使用下さい

OS2=05.00

ENTキーでダウンロードを実行

オンライン

OS1のバージョンUP中です。  
電源を切らずにしばらくお待ち下さい。

書込み中



オンライン

OS1のバージョンUP中です。  
電源を切らずにしばらくお待ち下さい。

ベリファイ中



オンライン

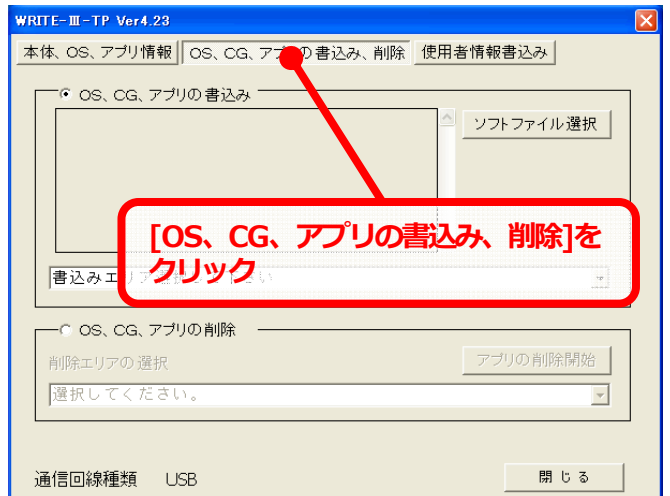
OS1のバージョンUP中です。  
電源を切らずにしばらくお待ち下さい。

ベリファイ終了

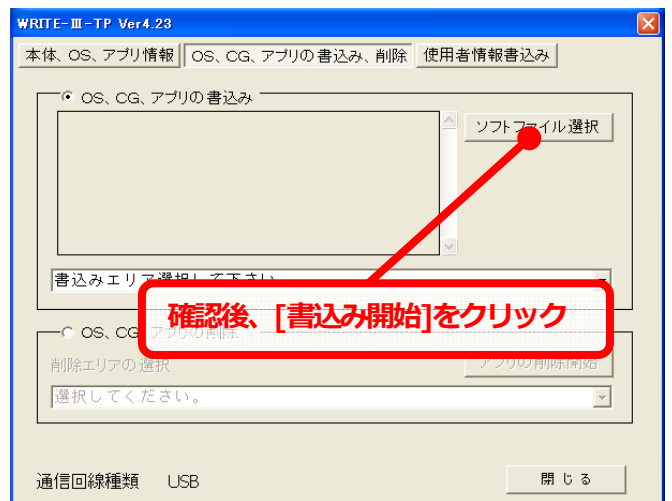
10.

「OS1」の書込みが完了しましたので、つづいて「OS2」の書込みを開始します。

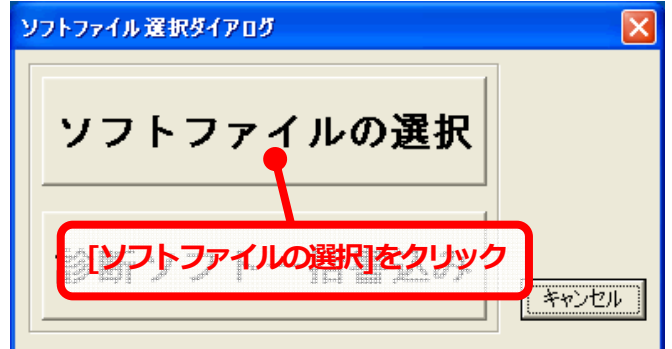
「OS1」の時と同様、[OS、CG、アプリの書込み、削除]をクリックします。



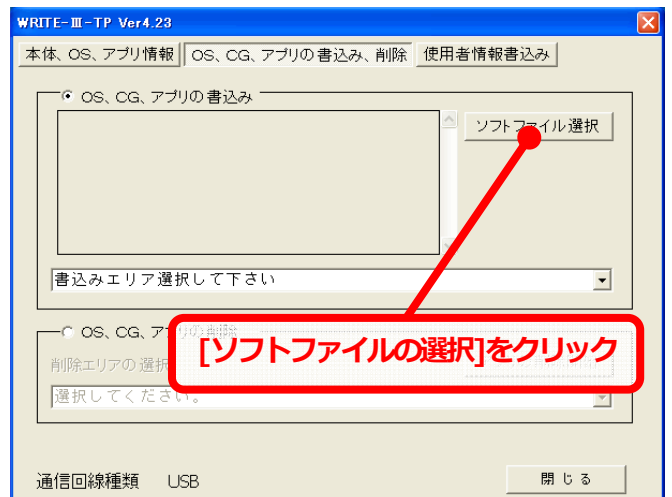
11. 画面右側にある [ソフトウェア選択]をクリックします。



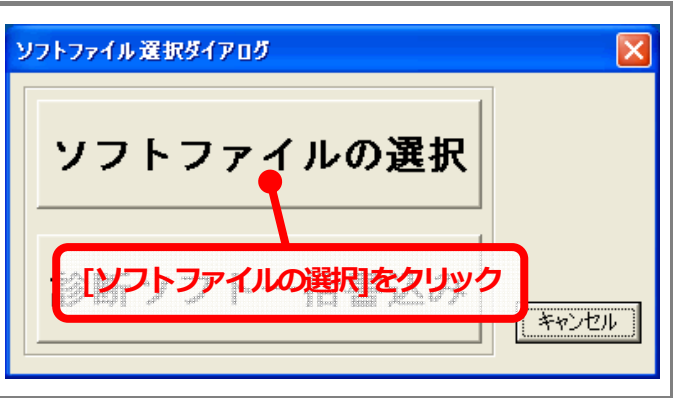
12. 「ソフトウェア選択ダイアログ」が表示されますので、[ソフトウェアの選択]をクリックします。



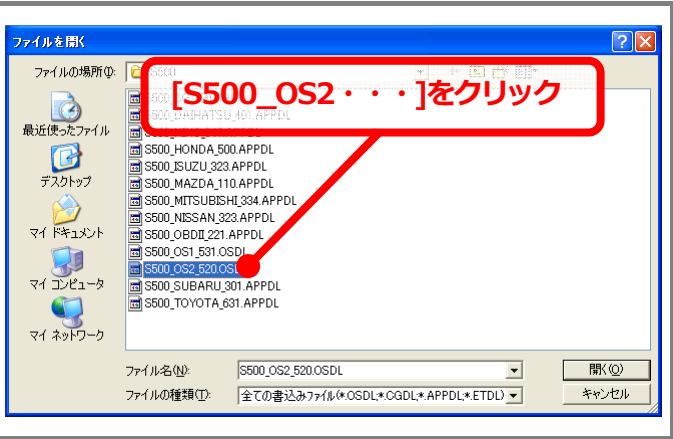
13. 画面右側にある [ソフトウェア選択]をクリックします。



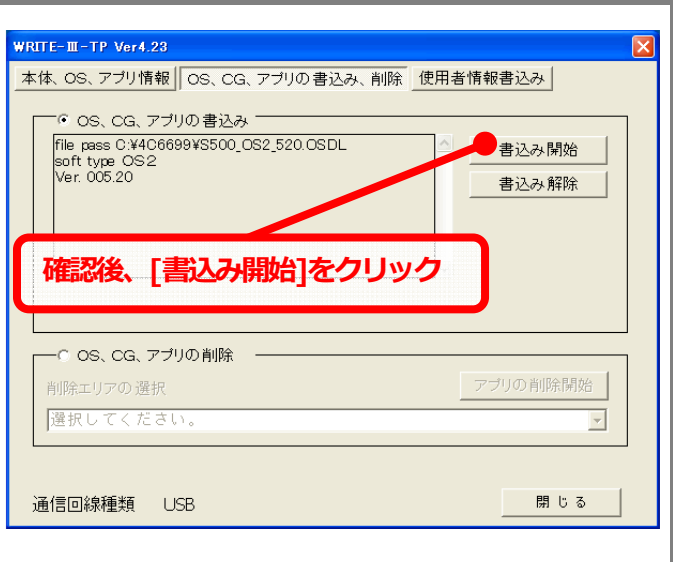
14. 「ソフトウェア選択ダイアログ」が表示されますので、[ソフトウェアの選択]をクリックします。



15. 今度は、「OS2」を書込みますので、「S500\_OS2・・・」を選択して[開く]ボタンをクリックします。  
※時期により「S500\_OS2\_」の後の数字は変わります。



16. OS、OG、アプリの書込み欄に選択したファイル名が表示されます。  
確認後[書込み開始]をクリックします。また、個々で違うファイルを選択してしまった場合は、[書込み解除]をクリックすることで、ソフトウェアの選択が可能になります。  
OS、CG、アプリ書込み欄の内容は以下のようになります。



17. 「OS2」の書込みが完了しましたら、次は「診断ソフト」の書込みを行います。今回の「OS2」の書込みでは、再起動は行いませんので、そのまま診断ソフトの書込みを開始できます。

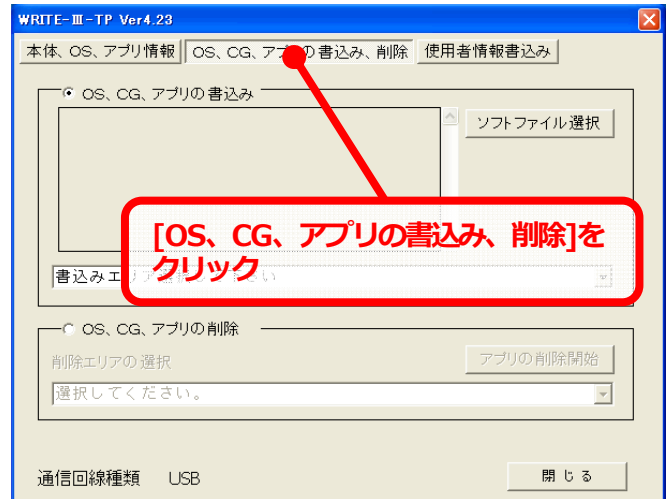


## 3-8 OS・診断ソフトの書込み（診断ソフト編）

1.

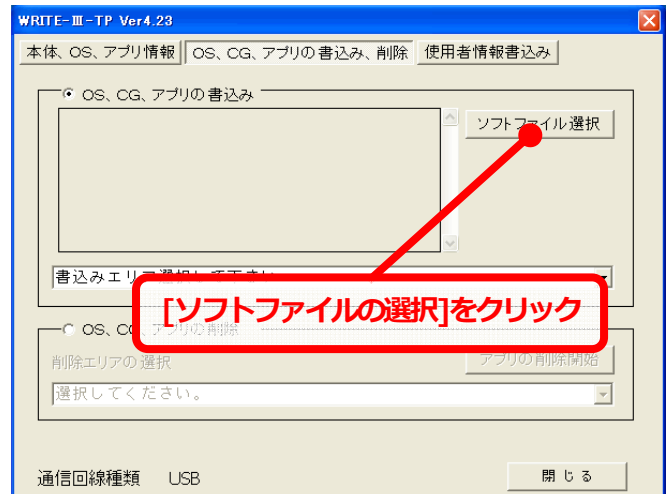
OSの書込みが完了しましたら、今度は、「診断ソフト」を書込んでいきます。今回から、「診断ソフト」の一部に限り、一括で書込みが出来るようになりました。ここでは、一括で書込む方法と、今までと同じく1つずつ書込む方法を説明します。

※一括書込みの場合、「書込みエリア（バンク）」の選択はできません。一括書込み時の各エリアは以下の用になります。



2.

画面右側にある [ソフトウェア選択] をクリックします。



3.

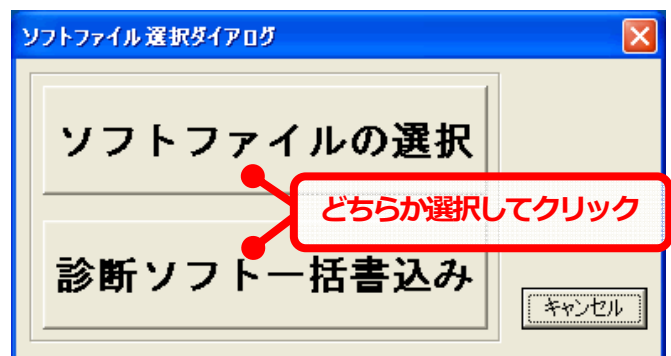
ここでソフトの書込み方法の選択になります。

1. ソフトファイルを1つずつ書込みバンクを選択して書込みたい場合は[ソフトウェアの選択]

2. ソフトファイルを一括で書込みたい場合は[診断ソフト一括書込み]

それぞれの書込み方法が違いますので、どちらかのボタンをクリックしてください。

※「診断ソフト一括書込み」はソフトの書込みバンクとメーカーが限定されます。



### 診断ソフト一括書込みの場合

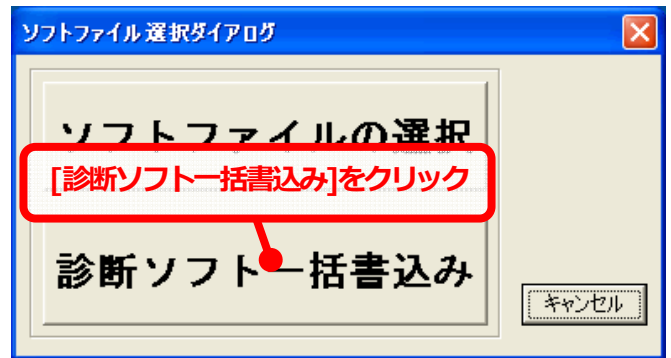
診断ソフト一括書込みの場合は、以下のように進めます。

※必ずダウンロードしたソフトウェアを解凍しておいてください。

[1]診断ソフトのあるフォルダを選択します。

[2]S500 へ書込みを開始します。

[3]一括書込みで書込みされなかった診断ソフトを一つずつ書込みます。(「一つずつの書込みの場合」を参照してください。)



#### 一括書込みにおける S500 本体書込みエリア (バンク) の詳細

※現時点での一括書込みは 8 メーカーのみです。

※一括書込みでは、OS1、OS2、CG は書込みません。[3-7 OS・診断ソフトの書込み (OS 編)] を参考に書込んでください。

※一括書込みはバンク 0 からバンク 7 までが対象です。この表にないメーカーは一括書込み後、他のバンクの一つずつ書込んでください。

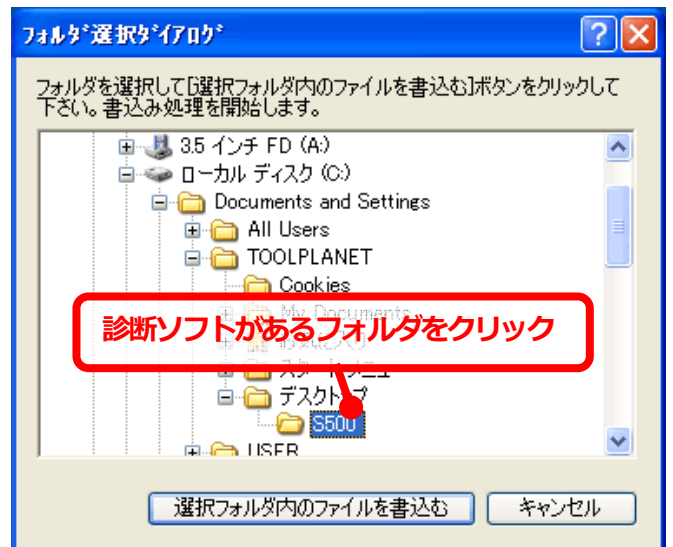
書込みエリア (バンク)	メーカー名
0	日産
1	トヨタ
2	三菱
3	スバル
4	ホンダ
5	マツダ
6	スズキ
7	ダイハツ

[1]診断ソフトのあるフォルダを選択します。

診断ソフトがあるフォルダを選択して、[選択フォルダ内のファイルを書込む]ボタンをクリックします。

この時、必ずなかのファイルが解凍済みであることを確認しておいてください。

※フォルダの中のファイルで各 OS、CG はこの作業で書込みされません。

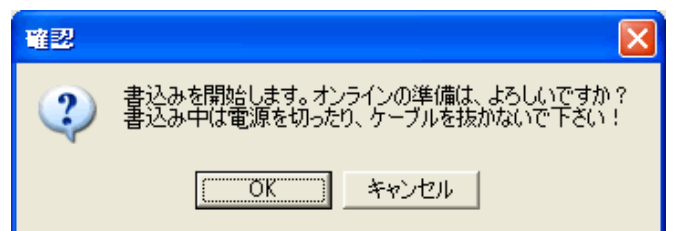


[2]確認画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックすると S500 へ書込みを開始します。

※この書込みでは、各 OS、CG は書込みされません。

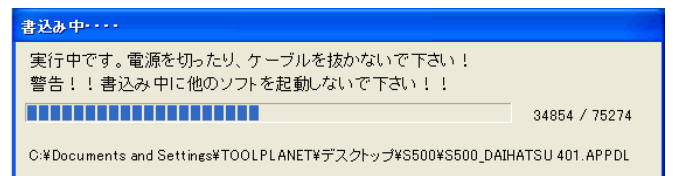
※書込みは「一括書込みにおける S500 本体書込みエリア (バンク) の詳細」のようにバンクとソフトは決められた場所に書込みされます。

※診断ソフトの順番を変えたい場合は、「一つずつの書込みの場合」を参照して書きこみを行ってください。

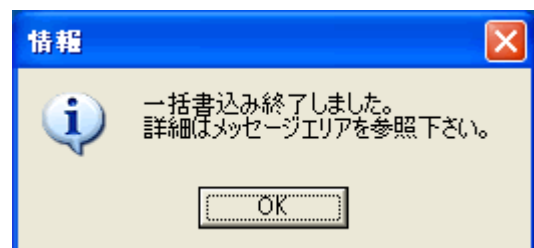


[3]書込みが開始され、書込み状況が表示されます。

※この時、パソコンで他の作業などはしないでください。S500 の故障の原因になります。



[4]一括書込みが完了しました。詳細をメッセージエリアで確認して、書込まれていない診断ソフトを書込んでください。

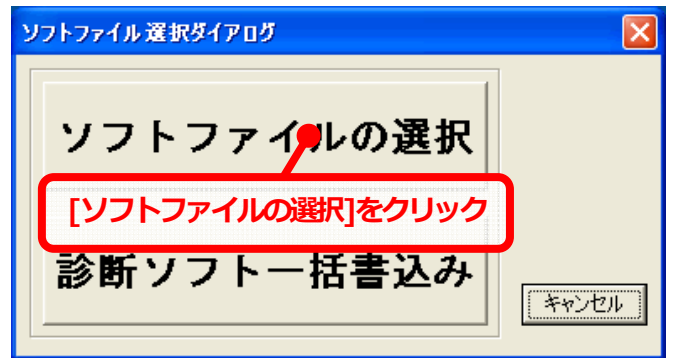


### 一つずつの書込みの場合

一つずつの書込みの場合は、以下のように進めます。

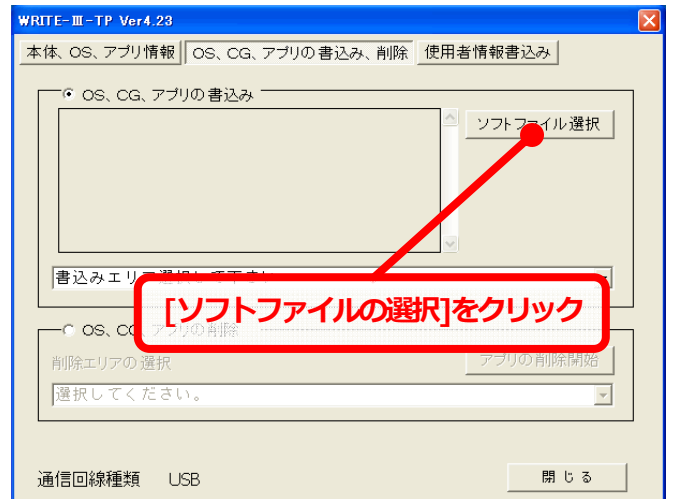
※必ずダウンロードしたソフトウェアを解凍しておいてください。

- [1]診断ソフトウェアを選択します。
- [2]ソフトを書込むバンクを選択し書込みを開始します。
- [3]S500 へ書込みが完了します。
- [4][1]へ戻り繰り返します。

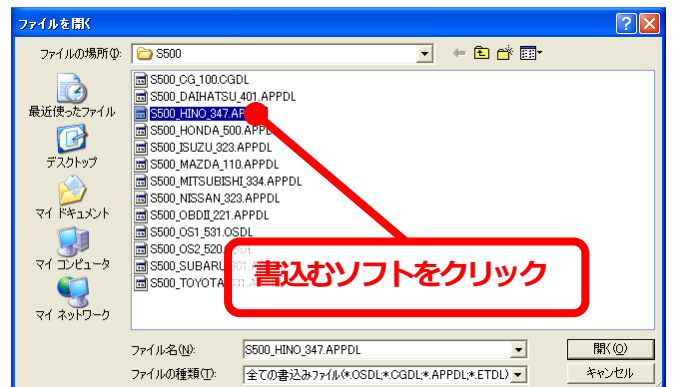


[1]診断ソフトを選択します。

WRITE-III を起動して「OS、CG、アプリの書込み、削除」の画面を表示させ、[ソフトウェアファイルの選択]ボタンをクリックします。



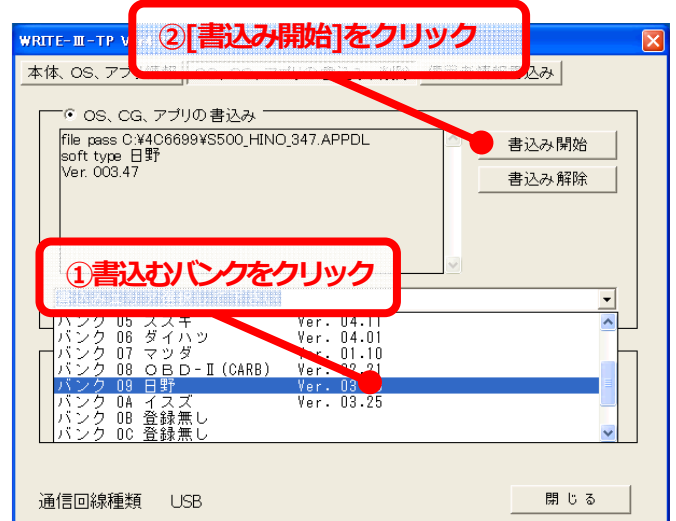
書込むソフトウェアファイルを選択（青く反転）させ、[開く(C)]をクリックします。



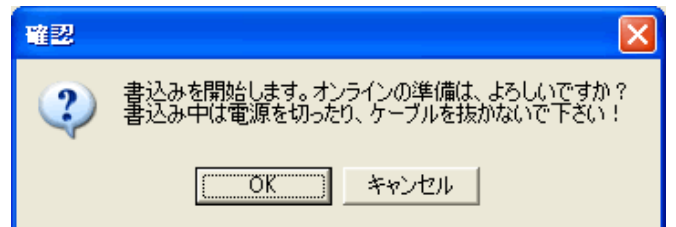


[2] ソフトを書込むバンクを選択し書込みを開始します。

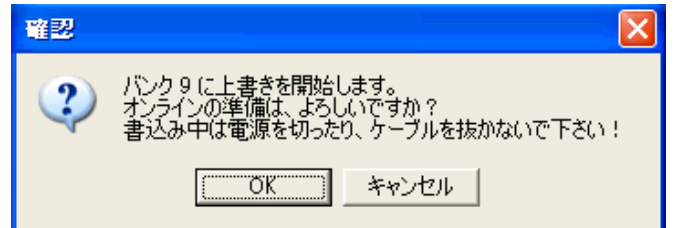
開いたファイルの場所、メーカー名、バージョンが表示されたら、書込みエリアの先端をして[書込み開始]ボタンをクリックします。



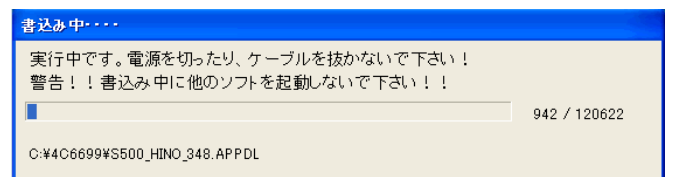
確認画面が表示されますので、確認事項を確認して[OK]ボタンをクリックします。



選択バンクが正しければ [OK]をクリックします。



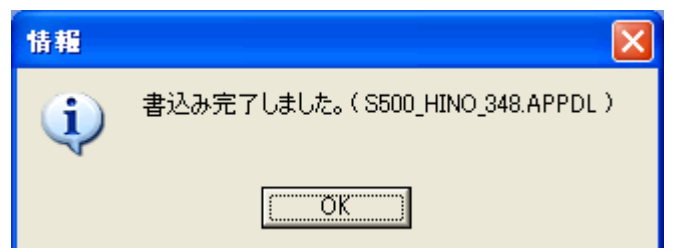
書込みが開始されます。



[3] S500 へ書込みが完了します。

書込みが完了しましたら、次の診断ソフトを書込みます。

([1]まで戻り、次の診断ソフトを書込みます。



## 4.「WRITE-III」のアンインストール(削除)

プログラムのアンインストール

### Windows 2000 の場合

[スタート]->[設定]->[コントロールパネル]->[アプリケーションの追加と削除]から削除してください。

### Windows XP の場合

[スタート]->[コントロールパネル]->[プログラムの追加と削除]から削除してください。

### Windows Vista の場合

[スタート]->[設定]->[コントロールパネル]->[プログラムの機能]から削除してください。

### Windows 7 の場合

[スタート]->[設定]->[コントロールパネル]->[プログラムの機能]から削除してください。

## 付録

### 展開ウィザード (ZIP ファイルの解凍 Windows XP の場合)

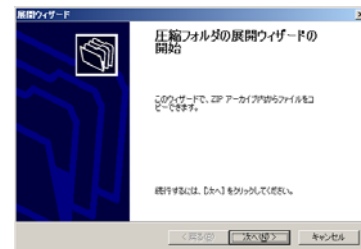
#### 展開の開始

ファイルをリックすると、右のようなメニューが表示されます。[すべて展開 (A)] をクリックすると「展開ウィザード」が開始されます。



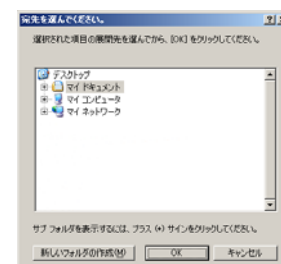
#### 圧縮フォルダの展開ウィザードが開始

[次へ (N)] をクリックします。



#### 展開先の場所

ウィンドウが変わり (図 A)、展開 (解凍) する場所を確認します。[参照 (B)] をクリックすると図 B のようなウィンドウが表示され展開する場所を変更できます。変更がなければ [次へ (N)] をクリックします。



#### 展開の終了

展開 (解凍) が終了しました、中段の「展開されたファイルを表示する (H)」をクリックを入れて [完了] をクリックするとウィンドウを閉じたあと展開したファイルが表示されます。

